



ゆとりの会だより

西東京ゆとりの会（認知症の家族会）会報

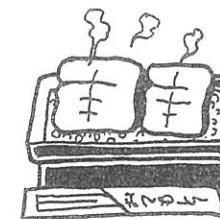
2024. 7月

ゆとりの会の皆さん、こんにちは。お元気ですか？ 今年は梅雨入りが遅れました。梅雨入り前から、気温が高い日があり、今年の夏も熱中症対策が必要になりそうです。気温が高い日は、エアコンも適切に使用して、水分をこまめに摂り、食べ物のいたみにも気をつけて、体調を崩さないよう、けがもしないよう、無理せず健康に、この夏を過ごしていきましょう！

さて、7月のゆとりの会の会場は、6月と同じ田無公民館2階、活動室2です。始まりは1：30からです。8月のゆとりの会は例年通りお休みとなりますので、次回のゆとりの会は、9月です（8月下旬に会報でお知らせします）。会費がまだの方は、7月の会の出席時に現金を会計まで。出席がなかなか難しい方は、4月の会報にも書きましたが、84円切手で18枚を、田村まで郵送して下さい。それでは、9月の会まで間も空きますので、暑い中大変ですが、7月のゆとりの会お待ちしています！

7月のゆとりの会のお知らせ

日時	7月10日（水）午後1：30～3：30
場所	田無公民館2階 活動室2
内容	懇談、情報交換



<6月の会より>

この日は、出前講座をお願いしていた、権利擁護センター「あんしん西東京」の方2名、高澤さんと市川さん。他にも、飛び込みで、泉町地域包括支援センターの田中さんと安井さん、山田病院の認知症疾患医療センターの竹内さんがいらっしゃいました。

◆「あんしん西東京」の方のお話

「あんしん西東京」のパンフレットと成年後見制度のパンフレットの配布がありました。「あんしん西東京」の2つの事業について、日常生活自立支援事業については、高澤さんより、成年後見制度に関する事業については、市川さんより説明がありました。

① 日常生活自立支援事業（高澤さんより）

対象の方は、判断能力低下の方、福祉サービス利用、またはこれから利用予定の方。福祉サービス利用の方とは、ケアマネさんが付いている、ヘルパー利用の方、デイサービスに行っている方で、本人との契約になるので、本人の意思があるかどうかが問



題とのことでした。

支援内容としては、月1回自宅へ訪問、郵便物の整理や、書類の手続き関係。お金の管理も追加サービスがありますが、お金の管理だけをすることは出来ないとのこと。料金は毎月1回1時間まで1700円で、以降30分までごとに850円追加になるとのことでした。

対象の方は、手続き的には、包括かケアマネから入ることが多く、特徴としては、一人暮らしの人、家族が遠方にいる人、家族がいる場合もあり、ご夫婦の夫が認知症になってしまったが、奥様はお金のことがわからないなど、様々な例があるとのことでした。

② 成年後見制度に関する事業（市川さんより）

申立て支援は、制度の概要や申立てについての説明、その他制度に関する相談を受けます。また、各専門職等の紹介もします。専門相談は予約制で1時間無料とのことです。専門相談の曜日については、6月15日付け西東京市社協だより「ゆめはーと」3ページの「あんしん西東京」欄にも書いてあります。曜日によって、弁護士、司法書士、家庭問題の専門家の方が相談を受けてくださることでした。

◆セミナーのお知らせ（そんぽの家ひばりが丘ホーム長、平田さんより）

「いざという時慌てない、介護と相続の準備」セミナー&相談会、参加無料

日時：6月15日（土）14：45～15：30

場所：そんぽの家ひばりが丘

お問い合わせ・申し込みは、050-1809-9903 春見（かすみ）さんまで

◆田村より

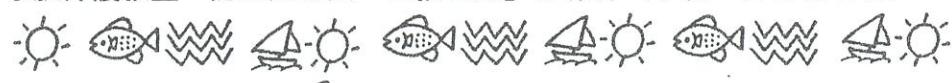
* 資料①西東京市の事業者ガイドブックより、「歌のつばさデイひばりが丘」の紹介。音楽療法に力を入れているデイサービス。他にも、認知症対応型デイサービス「悠花」。看護師配置が多いデイサービス2カ所「グリーンロード」と「かがやきデイサービスひばりが丘」の紹介。

* 資料②読売新聞「時代の証言者」欄より、橋幸夫さんの実母の介護経験の記事より、紛失したお金が、トイレや天井裏などとんでもない場所から発見されるところや、幻覚や徘徊もあった様子が書かれていて、認知症の母との体験を本にした「お母さんは宇宙人」という本を紹介しました。

* 資料③青梅ネット短信5月例会のもの。看護小規模多機能型利用の方のお話や、良い本に出会い妻の看ている世界を考えた方のお話が載っています。

* 情報いろいろのファイル回覧。デイサービス、有料老人ホーム、サロン、カフェなどのパンフレット。

* 6月21日（金）家族介護教室「認知症の人への接し方」の紹介（予約一杯とのこと）





<介護中の方のお話>

◆奥様と一緒に参加してくださるご主人は、今週は介護認定の延長で調査の人が来たり忙しかったとのこと。3週間位前、長男がベトナムにいるのだが、「あなた（ご主人のこと）が寝ている間に、長男が来た」と奥様が言ったとのこと。そして次男の家に泊まつたので、翌日次男の家にお礼の電話をしたり、ベトナムの長男にも「あなた昨日来たでしょう」と奥様が電話している。このことで、長男も次男の方も母親の状態がわかつたのか、「家に二人（長男、次男）がやってきて、これ（母親の介護）は自分たちの問題だ」と言っていたそうです。次男の方が母親思いになり、「『レカネマブ』（昨年承認された認知症新薬）をお母さんに試したい」と話され、「家族がまとまってきた」とご主人はおっしゃっていました。

*ご主人からは、「レカネマブ」を受けたほうがいいかどうか？皆さんの意見が聞きたいという提案がありました。

➡「レカネマブ」の投与対象者が、アルツハイマー病の早期患者、認知症と診断されているが症状が軽度の人と認知症の前段階の軽度認知障害の人なので、まず専門医の診断を受けるのがよいと思います（田村より）

➡奥様介護の先輩会員からは、「妻とはよく歌を在宅の頃から歌っていた」「『パーソナルソング』という映画を觀ても、歌がいかにいいかがわかる」というお話がありました。

◆ご主人が特養入所中の奥様。「特養に入所して、1年半くらいになる。本人は落ち着いて慣れてきた」とのこと。5月20日から自由面会となり、予約なしでお部屋にも行けるようになったそうです。ただ、リビングに行くと皆は体操しているのに、（ご主人は）1人ポツンとしているのを奥様は心配していました。ご主人は、施設のヘルパーさんことを「お母さん、お母さん」と呼んでいたり、先日面会を行った時は、ヘルパーさんが「今日は、本当のお母さんが来て良かったわね！」とご主人に言っていたとのことでした。おやつもOKとのことで、面会も緩和されてきて良かったです。

◆島根県松江に一人暮らしのお姉様がいる、遠距離介護中の妹さん。お母様が亡くなり、先月49日の法要があったとのこと。「姉は、亡くなった時は（母が）亡くなつたことを認識できなかつたが、49日を過ぎてから『一人ぼっちになつてしまつた』と言つた」とのこと。49日が過ぎて（姉が）妙に落ち着いて何も言つて来なくなつたそうです。8月のお盆まで、この状態が続けばいいと思っているとのことでした。

◆ご主人の弟さんが意味性認知症という方は、義妹さんと、「あんしん西東京」の専門相談を受けに行かれたそうです。お義父様が亡くなつて、ご主人とお義弟さんが相続人で、お義弟さんは書類がうまく書けなかつたりするので心配とのこと。また来年6月免許更新があるので、警察の方から何か言ってもらえないかなど、対処の仕方を専門相談に行って聞いてきたとのことでした。



◆介護3のご主人を在宅介護中の奥様。「アルツハイマー病12年となる。長いなーと思うが、それだけ元気なのかと思ったが、今年に入ってから、私も、主人も生きるか？死ぬか？の病気をした」ご主人が大病の後、それまで行っていたデイサービスから「受け入れを少し待つてほしい」と言われたが、ご主人のショートステイ利用の翌日にデイから「来てもいいですよー」の電話があつたとのこと。「先月ここ（ゆとりの会）で吐き出したことが良かったのかな？」と奥さまはおっしゃっていました。週2回元のデイサービスへ行かれるようになつたとのことでした。

◆山田病院に奥様が入院中のご主人。去年6月、奥様に魔法の言葉「来世でも結婚しよう！」と言つたら、奥様が覚醒して1年経つ。残念ながら反応が弱くなつて、今、2曲歌うのがやっとになってきたとのこと。1週間に2回、水ようかんとプリンを持って、「私は元気な顔を見せよう！平常心でいたい」とご主人はおっしゃっていました。

<参加の皆様からの声より>

◆5月10日、山田病院の「風のカフェ」に参加してきた。「ヘルプカードについて」永田久美子さんのお話だった。認知症の人だけでなく、永田先生も田無駅から、この日の会場「フレンドリー」に行きたいと書いて持つても良いと話されていた。

◆「主人がスーパーのレジに並んでいた時、他の人のかごに商品を入れてしまつて怒られたことがある。ヘルプマーク（赤いタグのもの）を付けていいか？」

➡田無庁舎1階障害福祉課のカウンターにあります。一声かけてもらってください。（認知症の症状の方の対応に使ってもOKの確認を取つてあります）

◆お母様を看取られた娘さん。成年後見制度はむづかしくて使わなかつた。家は売れなかつたので、亡くなつてから処分したことだった。

<会が終わつてからの感想>

◆泉町包括支援センターの方より、「『あんしん西東京』の方のお話や、皆さんの話を含めて勉強になりました。

◆そんぽの家ひばりが丘のホーム長より、「生の話を聞かせてもらって良かった。ホームのほうでも、なかなか本音が聞けないことがある」

◆「あんしん西東京」の方より

*高澤さん；「あんしん西東京」の広報が課題だと思った。ケアマネージャーや包括支援センター経由で話が入つて来るが、まだまだ繋がつてない方もいると思った。

*市川さん；社協（社会福祉協議会）という組織は、「安心して生活していくお手伝い」をしていく所だと思う。「話していくうちに繋がつていくと思う」

<編集後記>

6月の会に出席された方には「あんしん西東京」という組織があることが伝わつたと思う。文字通り、市民が「あんしん」できる組織になつてほしい！（文責 田村）

★会報の問い合わせは 副会長 田村まで。TEL 042-458-1672

